



孫文記念館は1984年11月の開館以来30周年の節目を迎え、31年目へと新たな一步を踏み出しました。この間、兵庫県、神戸市、神戸華僑総会ははじめ、多くの先生方のご協力、ご支援によりまして、着実に発展を遂げてまいりました。

この30年間、大きな出来事として「辛亥革命100周年記念国際シンポジウム」の挙行、『孫文・日本関係人名録』の発行、「孫文記念館文庫」の開設、「大アジア主義講演90周年記念講演会」の開催や様々な展示会、講演会、などを行ってきました。山口一郎初代館長はじめ、陳徳仁、狭間直樹、安井三吉諸先生方の献身的努力によって孫文記念館は世界に発信する記念館となりました。こころより感謝申し上げます。

神戸華僑は神戸開港と共に神戸に移り住んで以来150年近くになります。その間、神戸市民と暖かい友情を築いてきました。孫文もまた多くの日本の友人と親交を深めました。多くの日本の友人は孫文の人間の魅力に魅かれ、孫文の理想実現の運動を献身的に支援しました。それ故彼をして「日本は予之第二故郷」、日本は私の第二の故郷、と言わしめました。孫文記念館は世界に数多ありますが、他の記念館との相違点は神戸の孫文記念館は神戸華僑と日本の皆さんとが長年に渡り共に協力し記念館を維持、運営、発展させてきた点にあります。このように、両国民が協力する姿はあたかも孫文先生の理想を地で行っているように思えます。

そういう意味で孫文記念館（移情閣）は日中両国民の友

好のシンボリック的存在であると言っても過言でないと思います。孫文記念館（移情閣）は神戸華僑の宝であり、神戸市民の宝でもあります。

これからも互いに協力し、民間団体として日本、中国両国の親善、友好、往来に少しでも貢献できるよう努力していきたいと思えます。

開館30周年を迎えることができましたことを、ここにあらためて感謝するとともに、これからも記念館に対して、みなさまの変わらぬご支援とご指導をお願いしまして、ご挨拶とさせていただきます。



昨年11月8日の孫文銅像除幕式にて

目	次
開館30周年のごあいさつ.....(1)	第26回孫中山・宋慶齡記念地聯席會議に参加して.....(5)
孫文記念館30周年記念の集い.....(2)	天安門上の「孫文肖像と遺囑」.....(5)
館報『孫文』第13号訂正.....(2)	孫中山記念会 理事会・評議員会報告.....(5)
「孫文2014」特別展示「孫文記念館30年の歩み」.....(3)	孫文研究会通信.....(5)
孫文「大アジア主義」講演90周年記念国際シンポジウム・講演会 (3)	移情閣友の会通信.....(6)
計報 貝原俊民氏（孫中山記念会名誉会長）.....(4)	記念館ニュース.....(6)
神戸・孫文ゆかりの地ミニツアー.....(4)	編集後記.....(6)

## 孫文記念館30周年記念の集い（2014年11月8日）

昨年11月8日（土）、孫文記念館は開館30周年を記念して、標記の催しを開催しました。

まず午前は、当館庭園にて「孫文銅像除幕式」を行いました。この像は開館30周年を記念するべく、ハワイに在住されている孫文の令孫、孫穗芳氏から寄贈されたものです。孫穗芳氏は孫文の長男・孫科の令嬢で、1984年の当館開館時などの際に、当館を訪れています。また孫文の顕彰に以前から熱心に取り組んでおり、特に孫文銅像を世界各地に寄贈しています。当館に寄贈された像は137体目になります。

除幕式は孫穗芳氏、そして孫氏のご友人で横浜華僑の陳福坡氏から「孫文像が日中友好のシンボルとなって欲しい」とのご挨拶をいただきました後、無事除幕となりました。除幕には日本における孫文の曾孫・宮川祥子氏もご参加し、日中にわたる孫文の末裔による除幕となりました。



孫文銅像除幕の様子

午後は場所を改めまして、神戸市中央区の中華会館東亜ホールにて、孫文記念館開館30周年記念式典をとり行いました。まず齋藤富雄理事長の挨拶から始まり、移情閣友の会によるコーラス、二胡の演奏を経まして、第4回山口一郎記念賞授賞式が行われました。



第4回山口一郎記念賞授賞式

山口一郎記念賞は孫文研究・近代中国史研究に大きな貢献があった研究者に対し、孫中山記念会から送られる賞で、今回は『科学の人・孫文 思想史的考察』を執筆された京都大学客員准教授の武上真理子氏が受賞しました。武上氏の研究は、孫文が啓蒙科学を吸収する事で思想を形成し、政治に応用した面を描写した事で、孫文研究の水準を押し上げたと評価されました。授賞式に続き、武上氏による講

演「『科学の時代』の孫文像」が行われました。

最後に、孫穗芳氏の講演会「孫文と中国伝統文化の伝承と発揚」が行われました。孫穗芳氏は講演の中で、中国の危機を救おうとした孫文は、中国思想を継承、発揚しつつ自らの思想を形成し、中国に近代国家を樹立しようとしたと述べた上で、孫文思想が現在の中国の発展にも合致している事を指摘し、さらに孫文思想は中国、そして世界の発展と平和に対して依然として大きな貢献が出来るとして、これからも世界に向けて孫文の顕彰を続けたいと述べました。



講演する孫穗芳氏

記念式典の終了後、神仙閣にて祝賀会が行われ、ご列席されました井戸敏三兵庫県知事・孫中山記念会会長や、玉田敏郎神戸市副市長、王軍中国駐大阪副総領事、貝原俊民孫中山記念会名誉会長から祝賀をいただきました。

（研究員：村田省一）

### 館報『孫文』第13号訂正

4 ページ

・「宮崎八郎書簡」について

誤 築地宜雄のお孫さん

正 築地邦輔のお子さん

・寄贈された「孫文硯」について

誤 宮原敦さん

正 宮原淳さん

5 ページ

誤 『孫文記念館蔵書目録』の刊行の刊行  
(2014年3月)

正 『孫文記念館蔵書目録』の刊行  
(2014年3月)

「孫文2014」特別展示「孫文記念館30年の歩み」  
(2014年11月)

昨年の孫文月間「孫文2014」では、孫文記念館開館30周年を記念して、孫文記念館がこれまで歩んできた歴史を振り返る特別展示を行ないました。



「孫文記念館30年の歩み」特別展示室

当館の前身は明治末期に、神戸華僑の呉錦堂が舞子に建てた別荘「松海別荘」です。1913（大正2）年3月、孫文がここを訪れて歓迎の午餐会が開かれた事が、孫文記念館の原点となっています。1915（大正4）年に三層八角形状の移情閣が建設され、別荘の建物の中ではこの移情閣が現存しています。

舞子公園の一部となった移情閣は、戦後は華僑や市民の憩いの場としても知られていましたが、1960年代の台風で大きく損壊してしまいます。修理のめども立たない移情閣を、神戸と孫文のつながりの象徴・「孫中山記念館」にしようと、陳徳仁・林同春などの神戸華僑や、中国思想史学者の山口一郎などが働きかけ、1983（昭和58）年に移情閣は兵庫県に寄贈されました。県はこれを修復し、孫中山記念会が運営する「孫中山記念館」として、1984（昭和59）年に開館を果たしました。



開館当時のチラシ

孫中山記念館は兵庫県、地元市民のボランティア団体である移情閣友の会、そして学術的な孫文研究を進める孫文研究会などに支えられ発展しました。1994（平成6）年の明石海峡大橋建設工事に伴い、移情閣は移築のため一時解体されましたが、2000（平成12）年に今の場所で復原開館を果たし、翌年には移情閣が国の重要文化財に指定されました。

2005（平成17）年に「孫文記念館」と改称した後は、毎年の「孫文月間」やシンポジウム、講演等も通じて、孫文の活躍や孫文と日本・神戸との縁、また中国についての様々な情報を発信しています。

（研究員：村田省一）

孫文「大アジア主義」講演90周年記念国際シンポジウム・講演会  
(2014年11月28日、29日)

本シンポジウム・講演会は、神戸大学国際交流推進機構アジア総合学術センター主催、（公財）孫中山記念会・神戸商工会議所共催により開催された。

報告者等は下記の通りである。

・第1日（11月28日、会場＝神戸大学瀧川記念学術交流会館）  
**国際シンポジウム「孫文『大アジア主義』と東アジアの共同知」**

開会の辞 神戸大学国際交流推進機構アジア総合学術センター センター長 齋藤彰  
孫中山記念会副理事長 安井三吉

来賓挨拶 兵庫県副知事 金澤和夫

講演

司会 神戸大学中国事務所長 緒形康

①「引きこもりの国民主義と恥の情について」

（アメリカ）コーネル大学文学院教授 酒井直樹

②「友日、連ソ、反帝—孫文『大アジア主義』講演の歴史的考察」

（台湾）国立政治大学文学院教授 劉維開

③「孫文の『大アジア主義』講演の真意」

（中国）中山大学人文科学学院教授 桑兵（孫中山研究所所長）

④「『王道』の『アジア』—孫文の『大アジア』と東アジアの『共同知』」

（日本）神戸大学大学院国際文化学術研究科教授 王柯

ディスカッション

閉会の辞 神戸大学理事・副学長 井上典之

・第2日（11月29日、会場＝孫文記念館）

**講演会「孫文『大アジア主義』講演と神戸」**

開会の辞 孫文記念館館長 愛新翼

孫文研究会代表 緒形康

講演

司会 孫文記念館副館長 西村成雄

**「孫文『大アジア主義』講演と神戸」**

講演者 孫文記念館前館長 安井三吉

コメント 酒井直樹 劉維開 桑兵

参加者：第1日＝99名、第2日＝56名

（安井記）



11月28日シンポジウム会場

## 訃報 貝原俊民氏 (孫中山記念会名誉会長)



孫中山記念会名誉会長の貝原俊民氏は、昨年11月13日に逝去されました。孫文記念館一同、謹んでご冥福をお祈り致します。

故貝原俊民氏

## 故貝原名誉会長を悼んで

(公財)孫中山記念会理事長 齋藤 富雄

孫文記念館創設30周年をご一緒にお祝いしたばかりのことでした。いまでも信じられません。

貝原さんは、坂井時忠知事の下で副知事として孫文記念館の創設に大きな役割を果たされただけでなく、2004年から11年までの7年間、理事長として孫中山記念会と孫文記念館の発展のために余人をもってしては代えがたい仕事をして下さいました。経済界ならびに華僑の皆さんのご支援を得、会の新しい発展を目指した孫中山記念会賛助会の立ち上げはその功績の一つです。

貝原さんのこうした活動は、孫文という人物とその思想への関心が根底にあったからだと思います。特に「大アジア主義」講演について深い関心を寄せられていました。くしくも、「大アジア主義」講演90周年の今年、貝原さんは急ぎ逝ってしまわれました。今はかけがえのない方を失ったという思いでいっぱいです。心からご冥福をお祈りします。

## 追悼のことば

孫文記念館館長 愛新 翼

貝原俊民先生の訃報に接し、謹んで哀悼の意を表します。ご生前のやさしい笑顔が思い出され、胸が痛みます。記念館館長として、まだまだ教えて頂きたい事が沢山ありましたが、残念でなりません。心よりご冥福をお祈りいたします。

「阪神・淡路大震災」の復旧・復興に陣頭指揮を執り、復興に貢献した貝原先生の逝去は県民の悲しみはもとより、国内外の多くの人々の悲しみでもあります。まさに巨星落ちる思いです。

また日本の各地の震災地区の人々にとって、貝原先生の復興に対する取り組み、政策、経験などその指導力はまさに必要とするところであります。

また先生は世界的視野に立って、日本唯一の孫文記念館の設立と発展に献身的努力をされました。孫文記念館に係る者にとって、その損失はあまりにも大きく言葉もありません。

私は2014年11月8日の貝原先生のおことばを胸に刻み、これからの人生の指針と致します。

## 神戸・孫文ゆかりの地ミニツアー (2014年10月5日)



ミニツアー地図

孫文は生前、確認できるだけでも18回神戸を訪れています。孫文が神戸でたどった足取りを皆様方にも実際に見学していただくとうと、標記の催しを昨年10月5日に開催しました。

朝10時にJR元町駅から出発しましたツアーの一行は、まず兵庫県庁の角にあります「孫中山先生大アジア主義講演会の地」銘板を訪ねました。1924年11月、孫文は最後の訪日の地となった神戸で、日中の連携を日本の民衆に向けて訴えました。その場所が神戸高等女学校（現兵庫県庁）でした。

その次に一行は諏訪山を登り、中腹の金星台にある「孫文先生諏訪山潜居の地」銘板を見学しました。1913年8月、袁世凱に反対する第二革命に敗れた孫文は中国から日本へ逃れ、夜陰に紛れて神戸に極秘上陸し、日本政府から亡命許可が出るまで、諏訪山温泉街の常盤花壇別荘に身を隠しました。

更に一行は山を下り、神戸中華同文学校へと向かいます。ここはかつて中華会館（現在は移転）のあった場所で、第二革命前の1913年3月、神戸を公式訪問した孫文を、神戸の華僑がここで出迎えました。同文学校の外壁にはこれを記念して「孫文先生来訪之地」銘板があります。



同文学校前で解説する当館の愛新館長

最後に一行は西へ向かい、大倉山にある「孫文先生之像」を訪ねました。神戸では戦後も孫文の顕彰が続き、1965年にこの像は建てられました。翌1966年から、孫文記念館開館への動きが始まっていきます。

ご参加していただきました42名の皆様、そしてご協力をいただきました諏訪山自治会の方々など、関係の方々にお礼を申し上げます。  
(研究員：村田省一)

## 第26回孫中山・宋慶齡記念地聯席會議に参加して

第26回孫中山・宋慶齡記念地聯席會議は10月28日より中国・南京に於いて開催され、神戸孫文記念館を代表して参加しました。大会は中国をはじめ、アメリカ、日本、シンガポール、マレーシアなど31の孫文関連の記念館、65名が集いました。大会は3日間の日程で、各地代表34名による報告と孫中山・宋慶齡記念地聯席會議の今後のあり方と、2015年度の開催地などを主なテーマとして討論しました。以下のことが議決されました。



南京聯席會議にて報告する  
愛新館長

- (1) 聯席會議の名称、組織、規約などを明確にする必要がある。
- (2) 2015年度は重慶で開催することに決定。
- (3) 2016年度は広州で開催することに決定。

最終日は中山陵、南京博物館を参観し、今回の聯席會議を終えました。

(館長：愛新 翼)

## 天安門上の「孫文肖像と遺囑」



(朝日新聞大阪本社所蔵)

この写真は、1928年8月1日付「中国国民党北平特別市党務指導委員会宣伝部」の名で天安門上に掲げられた孫文の肖像と遺囑の全文で、当時なお工事中であったことを示しています。北平（北京）での朝日新聞記者による撮影で、本社受付月日は1928年8月27日となっています。現行天安門上の政治家の肖像は、毛沢東像が周知のとおりですが、その起源は孫文像にあることはあまり知られていません。実は1945年12月には蒋介石像が掲げられていました。

今回、山本有造京都大学名誉教授から、所蔵されておられた「朝日新聞歴史写真アーカイブ」(サムネイル版)全72冊を当館に寄託していただきました。この写真はその約72000枚の中の一葉で、歴史的価値のある同時代写真と言えるでしょう。今後、孫文と関連のある歴史的写真を収集し、記念館でも展示できればと考えています。

(副館長：西村成雄)

## 孫中山記念会 理事会・評議員会報告

### ・平成26年度第1回評議員会

(平成26年6月27日 中華会館第一会議室)

- 議案：1. 平成25年度事業報告について  
2. 平成25年度財務諸表について  
3. 理事の選任について  
4. 評議員の選任について

報告事項：

1. 平成26年度事業計画について
2. 平成26年度収支予算について
3. その他

議案について、説明の後すべて承認されました。

### ・平成26年度第2回理事会

(平成26年7月4日 中華会館第一会議室)

- 議案：1. 理事長、副理事長及び常務理事の選定について  
2. 孫文記念館館長及び副館長の委嘱について
- 議案について、説明の後すべて承認されました。

(孫中山記念会事務局長：中村伸彦)

## 孫文研究会通信

### \*2014年度(7~12月)活動

- ・孫文研究会夏季例会：7月19日(土) 中華会館  
研究報告「清末華南沿海の秩序形成のあり方について」  
(村上衛：京都大学人文科学研究所准教授)
- ・神戸・孫文ゆかりの地ミニツアー：10月5日(日)  
(当研究会は共催参加)
- ・「孫文2014」第4回山口一郎記念賞授賞式：  
11月8日(土) 中華会館 受賞者：武上真理子氏  
受賞記念講演「『科学の時代』の孫文像」
- ・『孫文研究』第55号発行(12月26日)

### \*2015年度(1~6月)活動予定

- ・2015年度孫文研究会総会、冬季例会：  
1月12日(月・祝) 中華会館  
武上真理子『科学の人・孫文』(勁草書房、2014年)  
をめぐって(書評会)  
コメンテーター：森川裕貴(京都大学学振PD)  
宮川祥子(慶應義塾大学看護医療学部  
准教授)
- ・『孫文研究』第56号発行(6月30日予定)  
(孫文研究会代表理事：緒形 康)

※「研究室便り」は今号は休載します。

## 移情閣友の会通信

### \* 行事報告

#### ・ 移情閣まつり2014…9月7日（日）

##### 移情閣・庭園・舞子公園芝生広場

「友の会30周年の歩み」写真展のほか、会員推薦の中国図書や音楽などの紹介、中国物産販売・中国健康茶喫茶コーナー。また、囲碁対抗戦を同時開催し、囲碁同好会と中華同文学学校校友会が交流を深めました。

ホールにてコーラス同好会の歌、越劇同好会「梁山泊と祝英台」の越劇紹介、委員の中国語漫才（相声）「猜字」の初披露、愛新 翼館長の故事成語講座「臥薪嘗胆」も好評、司会が参加者と手話で「花」を歌ったあと、フィナーレは二胡同好会が演奏しました。当日は115名の参加があり、大盛況でした。



移情閣まつり

#### ・ 舞子公園秋の芸術祭2014…10月4日（土）

舞子公園明石海峡大橋下ウッドデッキにて開催されたトワイライトコンサートに二胡同好会とコーラス同好会が出演しました。



コーラスと二胡の演奏

・「神戸 孫文ゆかりの地」ミニツアー…10月5日（日）  
当日40名余りの参加があり、神戸・孫文ゆかりの地めぐりを通じて、孫文をより多くの方々に親しんでもらいました。

・「孫文2014」孫文記念館開館30周年記念の集い…11月8日（土）  
中華会館で開催された記念式典にコーラス同好会と二胡同好会が出演しました。神仙閣での祝賀会には林同福会長を始め、友の会から約20名が参加され、孫文記念館と友の会の30周年を祝いました。

#### ・ 移情閣友の会30周年記念フォーラム…12月20日（土）

『文化交流』と『留学』——子どもたちの未来に向けて  
舞子ピラ・あじさいホールにて300名の参加があり、徐一平・滕軍・加藤千洋・黒田千晴4先生の講演のほか、地域や中国人留学生の方々にも出演され、文化交流を通じて親交を深められた。



加藤千洋氏講演



記念集合写真

### \* 今後の行事計画

- ・ 2015新春のつどい…2015年1月24日（土）11:00～14:00  
参加費：3,000円  
神戸華僑歴史博物館見学・呉宏明館長講演会&懇親会（於 東栄酒家）
- ・ 第4回中国語講座文化祭 2015年3月22日（日）移情閣1階  
（移情閣友の会企画運営委員長：後藤みなみ）

## 記念館ニュース<2014年7月～12月>

- ・ 8月1日、中国中山市・中山海外聯誼会など一行来館。
- ・ 8月17日、国史館（台湾）取材班一行来館。
- ・ 11月20日、中国海南省高校生交流事業一行来館。
- ・ 11月26日、中国海南省文化広電出版体育庁一行来館。
- ・ 12月9日、富山県砺波郷土資料館学芸員が取材に来館。  
同館で今春、金唐革紙の特別展を予定。  
（研究員：村田省一）

## 編集後記

昨年11月、孫文記念館は無事に開館30周年を迎えることが出来ました。これまで当館を訪問していただいた方々、ご支援をいただきました方々に、お礼を申し上げます。一方で悲しいお知らせもありました。当館が30周年を迎えた直後、貝原俊民・孫中山記念会名誉会長がお亡くなりになりました。貝原氏が生前に、当館の発展にご尽力されたことは今号でもお伝えしています通りです。

今年2015年は移情閣建設100周年、そして翌年は孫文生誕150周年となります。皆様方の意志を継いで、これからも孫文記念館は歩みを続けていきます。（M・S）

### 孫文記念館館報 『孫文』

第14号（2015年1月30日発行）

発行者 公益財団法人 孫中山記念会

〒655-0047 兵庫県神戸市垂水区東舞子町2051

Tel : 078-783-7172 Fax : 078-785-3440

e-mail : sunwen20@aiores.ocn.ne.jp

URL : <http://sonbun.or.jp>

（題字は孫文記念館所蔵の孫文自筆の書より。ただしオリジナルは縦書き）